

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公開番号】特開2011-104415(P2011-104415A)

【公開日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2011-44520(P2011-44520)

【国際特許分類】

A 61 B 17/00 (2006.01)

A 61 M 37/00 (2006.01)

【F I】

A 61 B 17/00 310

A 61 M 37/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月15日(2011.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医療用皮膚アプリケーター装置であって：

長軸方向軸を規定し、そして外壁を有する外側ハウジング；

該外側ハウジングに連結されたアプリケーターであって、アプリケーターフレームおよびアプリケーター部材を含み、該アプリケーターフレームが内部貫通部材を有し、該アプリケーター部材が該アプリケーター部材の長さに沿って延びる長軸方向軸を規定し、そして平面図として、先導端部から後続端部まで：

外側先導表面；

外側後続表面；

該先導表面と該後続表面との間で該長軸方向軸に沿って延びる対向する外側表面；

少なくとも該外側ハウジング内に配置され、そして医薬を貯蔵し、そして選択的に放出するための流体チャンバーを有する流体ハウジングであって、該内部貫通部材で該流体チャンバーにアクセスするために第1の遷移位置から第2の作動位置までの移動のための寸法であり、かつ適合され、該医薬が適用されるべき該流体チャンバーから患者に該アプリケーター部材で分与される、流体ハウジング；および

該流体ハウジングに作動可能に連結され、そして該外側ハウジングを超えて延びる手動で係合可能な部材であって、該流体ハウジングの該第2の作動位置への長軸方向移動を引き起こすように手動操作により押し下げ可能であり、離脱可能に取り付けられた離脱可能タグを含み、該離脱可能タグが該第1の遷移位置にある該流体ハウジングを選択的に固定し、そして進行されるべき該手動で係合可能な部材が該流体ハウジングを該第2の作動位置に移動することを可能にするために除去可能である、手動で係合可能な部材、を規定する、医療用皮膚アプリケーター装置。

【請求項2】

前記離脱可能タグが、前記手動で係合可能な部材中に規定されるボア内に離脱可能に受容可能であり、該離脱可能タグが、該ボア内に位置決めされるとき、該手動で係合可能な部材の進行を防ぐ寸法である、請求項1に記載の医療用皮膚アプリケーター装置。